

アジア原子力協力フォーラム(FNCA)
FNCAの活動方針に関する共同コミュニケ(仮訳)
2020年12月10日採択(於オンライン会議)

我々、FNCA参加国であるオーストラリア連邦、バングラデシュ人民共和国、中華人民共和国、インドネシア共和国、日本、カザフスタン共和国、大韓民国、マレーシア、モンゴル国、フィリピン共和国、タイ王国及びベトナム社会主義共和国の代表は、

積極的なパートナーシップを通じて、原子力技術の平和的で安全な利用を進め、地域の社会的経済的発展を促進するとともに、加盟国の社会的、経済的充実につながる研究開発、知識と情報の共有及びその蓄積がFNCAの主要な役割と活動目的であることを想起し、

原子力は、エネルギー安全保障、ベースロード電源へのアクセス及び温室効果ガス排出の削減又は回避に貢献し得るとの「G20 持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合」閣僚声明(2019年6月)に留意し、

持続可能な農業発展、食物安全、環境に配慮した工業開発、気候変動への影響軽減及び自然生態系の保護の分野における放射線技術の潜在的可能性と FNCA プロジェクトの価値を認め、

FNCA 放射線治療プロジェクトとそれに付随する子宮頸がん、咽頭がん、乳がんについての臨床研究の進捗、及び放射線治療の先端技術と機器についての産学交流の重要性を認識し、

従事者の高齢化により生じる、原子力科学・技術分野における必要な人材基盤強化と知識の継承の重要性を認識し、

研究炉、及び加盟国の発展に寄与できる NAA, BNCT, NR、材料研究及び放射性同位体の生産など、その応用の重要性を認識し、

新型コロナウイルスの世界的蔓延が 2020 年度 FNCA プロジェクト活動に与えた影響に留意し、

グロッキー事務局長から提案のあった原子力技術及び原子力由来技術やIAEAと関連研究機関との国際的な研究ネットワークを活用し、IAEA加盟国における人畜共通感染症

対策能力を強化するためのZODIAC事業を設立するためIAEAのイニシアティブを歓迎し、

IAEA や OECD/NEA に代表される原子力関連国際機関、関連組織との連携の重要性を認識し、

農業、工業、医療及び環境分野における FNCA プロジェクト活動の進捗を評価し、第4回 FNCA 賞受賞者の際立った功績を称え、

IAEA による世界的な社会・経済発展を目的とした原子力科学・技術の安全で平和的な利用を推進する取組の継続を歓迎し、

以下に向けて活動する

1. FNCA プロジェクト活動及び各種会合の正常化

2020 年の FNCA 活動は新型コロナウイルス蔓延の影響を大きく受けたが、今後 FNCA 各国は安全確保を大前提に、FNCA の研究活動の正常化と国際会合の早期再開に向けて最大限の努力を行う。

加盟国コーディネーターに対し、既存プロジェクトの継続について検討し、新規プロジェクト提案を評価するためのコーディネーター会合を、オンライン開催といったバーチャル手法を駆使して開催するよう要請する。

2. 医療分野でのFNCAとIAEAの将来的連携

新型コロナウイルス感染症を含む人畜共通感染症対策において、必要に応じ、既存の事業に重複しない形で、IAEAがWHOを含む関連国際機関との協力を強化することを期待し、また、将来、そのような協力におけるIAEAの役割と責務が明確に定義される際には、FNCAとIAEAの協力の可能性を探求する。

3. 放射線治療の促進

アジア地域における放射線を利用したがん治療の拡大を継続して促進する。

メンバー国における FNCA 放射線治療プロジェクトを、プロジェクトリーダーの主導の下、2019 年のMLMにおいて確認されたアジア地域のがん治療の強化に取り組むという参加国の方針を踏まえて促進する。

また、革新的な放射線治療技術の進展や普及に向けた取組を関連国際機関との連携等により継続、強化する。

4. 環境保護及び気候変動対策における協力

2021年スタディ・パネルにて、「核同位体技術と気候変動科学」をメインピックとして採りあげることを含め、環境保護及び気候変動対策における協力の強化を加盟国に促す。

5. 農業と工業分野における研究開発成果の利用の拡大

第22回 FNCA 閣僚級会合の円卓会議トピックスとして、研究炉、加速器の利用拡大を取り上げる。

放射線育種、放射線加工、研究炉利用、中性子放射化分析及びアイソトープ製造などのプロジェクト技術成果の最終ユーザーによる利用を、社会経済へより効果的な貢献ができる商業化の可能性も考慮しながら、加盟国において促進する。

6. その他促進すべき分野と活動

加盟国全般で優先度の高い、持続的農業の発展と食品安全、環境保護、医療、及び核の安全と保全文化のための基盤開発に関連する原子力科学・技術の応用分野における活動を拡大する。これに際しては、現存の研究開発分野を促進するとともに、加盟国が幅広く関心を持ち、持続可能な発展に寄与する研究開発の将来的分野を積極的に採択する。

7. 原子力科学・技術分野における人材基盤強化のための協力

各加盟国の必要性や状況に応じ、FNCAのネットワークを活用して大学、研究機関間の組織的な人材交流や人材基盤強化に関する取組の情報交換をWebinarやオンラインでのワークショップ等の開催の手段を活用しながら、促進する。

8. パブリックコミュニケーション及び広報機能の拡大と関連国際機関との協力強化

原子力関連技術の公衆認識と信頼性の積み上げをFNCAのウェブサイト、加盟国でのオープンセミナーやオープンレクチャー等の広報機能を通じて引き続き促進し、またIAEA、OECD/NEAなど関連国際機関との協力関係を強化する。